

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科	作業療法士		科 目 区 分	基礎分野	授業の方法	実習	
科 目 名	国際医療福祉		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30	(1) 時間(単位)
対 象 学 年	昼間部3年		学期及び曜時限	前期	教室名	801	
担 当 教 員	三田 直人						
実務経験とその関連資格	【実務経験】 作業療法士として身体障害領域の病院で5年間勤務。 主たる疾患として、リウマチ、脳梗塞、パーキンソン病、頸髄損傷、大腿骨頸部骨折などのリハビリテーションに従事。 キャラバンメイト養成研修受講済み。 【資格】 音楽健康指導士 準2級 地域音楽コーディネーター 認知症ケア指導管理士						
《授業科目における学習内容》 学内で海外の最新の医療・福祉の現状、技術について学ぶ。 講義を含め、会話は全て英語で行う。							
《成績評価の方法と基準》 レポート100%							
《使用教材(教科書)及び参考図書》 配布物資料							
《授業外における学習方法》 事前に配布しているプログラム等を使用し、見学する大学、施設等を確認する。							
《履修に当たっての留意点》 講義、演習が中心となります。実技もありますので白衣の準備をお願いします。 体調をしっかり整えておいてください。							
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容		
第 1 回	授業を通じての到達目標	日本と海外の医療現状について学ぶ①		配布資料	海外の作業療法・動向について調べる。		
	各コマにおける授業予定	座学					
第 2 回	授業を通じての到達目標	日本と海外の医療現状について学ぶ②		配布資料	海外の作業療法・動向について調べる。		
	各コマにおける授業予定	座学					
第 3 回	授業を通じての到達目標	日本と海外の医療現状について学ぶ③		配布資料	海外の作業療法・動向について調べる。		
	各コマにおける授業予定	座学					
第 4 回	授業を通じての到達目標	日本と海外の医療現状について学ぶ④		配布資料	海外の作業療法・動向について調べる。		
	各コマにおける授業予定	座学					
第 5 回	授業を通じての到達目標	日本と海外の医療現状について学ぶ⑤		配布資料	海外の作業療法・動向について調べる。		
	各コマにおける授業予定	座学					

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第 6 回	授業を 通じての 到達目標	実践的な英会話について学ぶ①	配布資料	日常会話や文法を復習しておく。
	各コマに おける 授業予定	英語でのコミュニケーション方法を知る		
第 7 回	授業を 通じての 到達目標	実践的な英会話について学ぶ②	配布資料	日常会話や文法を復習しておく。
	各コマに おける 授業予定	英語でのコミュニケーション方法を知る		
第 8 回	授業を 通じての 到達目標	実践的な英会話について学ぶ③	配布資料	日常会話や文法を復習しておく。
	各コマに おける 授業予定	英語でのコミュニケーション方法を知る		
第 9 回	授業を 通じての 到達目標	実践的な英会話について学ぶ④	配布資料	日常会話や文法を復習しておく。
	各コマに おける 授業予定	英語でのコミュニケーション方法を知る		
第 10 回	授業を 通じての 到達目標	実践的な英会話について学ぶ⑤	配布資料	日常会話や文法を復習しておく。
	各コマに おける 授業予定	英語でのコミュニケーション方法を知る		
第 11 回	授業を 通じての 到達目標	実践的な英会話について学ぶ⑥	配布資料	日常会話や文法を復習しておく。
	各コマに おける 授業予定	英語でのコミュニケーション方法を知る		
第 12 回	授業を 通じての 到達目標	実践的な英会話について学ぶ⑦	配布資料	日常会話や文法を復習しておく。
	各コマに おける 授業予定	英語でのコミュニケーション方法を知る		
第 13 回	授業を 通じての 到達目標	実践的な英会話について学ぶ⑧	配布資料	日常会話や文法を復習しておく。
	各コマに おける 授業予定	英語でのコミュニケーション方法を知る		
第 14 回	授業を 通じての 到達目標	海外での作業療法を知る①	配布資料	質問したい事柄を用意しておく
	各コマに おける 授業予定	海外提携校教員からの講義を受講。		
第 15 回	授業を 通じての 到達目標	海外での作業療法を知る②	配布資料	質問したい事柄を用意しておく
	各コマに おける 授業予定	海外提携校教員からの講義を受講。		